

令和6年7月19日

文化審議会の答申（登録有形文化財（建造物）の登録）

文化審議会（会長 しまたに ひろゆき 島谷 弘幸）は、令和6年7月19日（金）に開催された同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、新たに158件の建造物を登録するよう文部科学大臣に答申しました。

この結果、官報告示を経て、登録有形文化財（建造物）は14,303件となる予定です。

1. 今回答申された登録有形文化財（建造物）の概要

	新規登録	累 計
登 録 件 数	1 5 8	1 4, 3 0 3
関係都道府県数	2 8	4 7
関係市町村(区)数	5 5	1, 0 2 5

○時 代 別 (件)

	江戸以前	明 治	大 正	昭 和			計
				前期 (S元～ S20)	中期 (S21～ S40)	後期 (S41～ S64)	
新規登録	1 7	4 2	3 0	5 2	8	9	1 5 8
累 計	2, 5 6 8	4, 4 8 9	2, 9 0 1	3, 6 4 5	6 3 6	6 4	1 4, 3 0 3

○種 別 (件)

	産 業			交通	官公 庁舎	学校	生活 関連	文化 福祉	住宅	宗教	治山 治水	他	計
	1次	2次	3次										
新 規	2	24	15	1	3	2	0	7	63	40	1	0	158
累 計	136	1,488	1,770	526	250	452	336	499	6,422	2,107	225	92	14,303

(件)

	建 築 物	土木構造物	その他の工作物	計
新規登録	1 3 6	3	1 9	1 5 8
累 計	1 1, 3 8 6	6 7 7	2, 2 4 0	1 4, 3 0 3

今回の答申における主なもの

① 絹織物の不純物を取り除く現役の精練工場

021～27 ^{うぜんけんれん}羽前絹練株式会社精練棟ほか 6 件 山形県鶴岡市 大正後期

鶴ヶ岡城跡の西方に位置し、絹織物の洗浄・乾燥などをおこなう工場。精練棟は生地に付着するタンパク質などの不純物を熱湯で洗浄する作業場。内部は一室の土間で水槽を並べ、上部には生地を水槽に移すレールと洋小屋を現す。生地の精練をおこなう現役の工場建築。



② 蕨市民が親しむ円形の幼稚園舎

030 わらび幼稚園円形園舎 埼玉県蕨市 昭和 38 年／平成 9 年改修

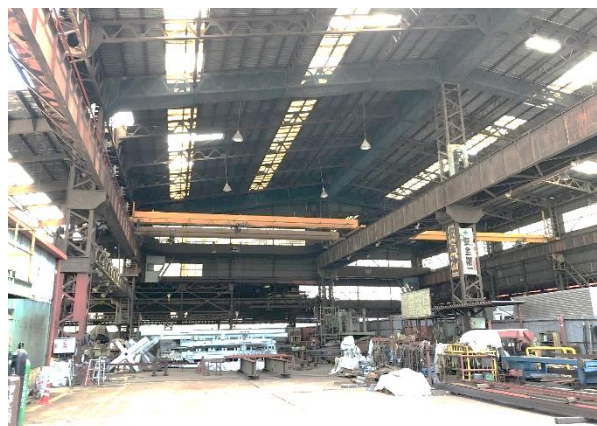
蕨市街地南東に位置する幼稚園舎。鉄筋コンクリート造 2 階建ての円形平面で、1 階は中央遊戯室の周りに保育室を配し、2 階は一階より一回り小さく、外周を屋上テラスとする。建築家坂本鹿名夫^{さかもと かなお}による設計で、円形を用いて狭隘な敷地内で採光を考慮した現役の園舎。



③ 川崎の高度成長期の発展を伝える鉄工所

047～51 北條鉄工クレーンヤードほか 4 件 神奈川県川崎市 昭和 43 年

JR 浜川崎駅の北方に位置する現役の鉄工所。クレーンヤードは、重量鉄骨の製作や組立等を行う作業場。内部は一室の大空間で上部に作業用走行クレーンを 3 列収容する。山形鋼を接合した箱形のラチス柱や梁が往時の時代相をよく示す。巨大な外観が鉄工所景観の要をなす。



④ 国内最初期のアーチ式砂防堰堤

075 宮海道堰堤 ^{みやかいどう} 長野県松本市 昭和 14 年

松本市街を東西に貫流する犀川水系薄川上流の狭窄部に位置し、長野県直営で建設した砂防施設。平面は半径 30 メートルの円アーチ形で、堤高は 15 メートル。アーチ計算などに当時の高度な土木技術を駆使し、現在も機能し続ける我が国最初期の砂防堰堤で貴重。



⑤ 大屋根が周囲の森林に溶け込む郊外住宅

101 牛谷家住宅主屋 ^{うしたに} 奈良県宇陀市 昭和 43 年

近鉄榛原駅北方に位置する郊外住宅。設計は坂倉準三建築研究所。木造 2 階建てで、1 階は時計回りに部屋を並べて、わずかな段差で変化を付け、上部に放射状に配した垂木を現す。軒深い大屋根が周囲の自然に溶け込み、正面に開く屋根窓が、印象的な外観をつくる主屋。



提供：宇陀市教育委員会

⑥ 前川國男による戦後庁舎建築の大作

117～119 岡山県庁本庁舎本館 ^{まへかわくに} ほか 2 件 岡山県岡山市

昭和 32 年／昭和 39 年・同 43 年増築、平成 8 年・令和 6 年改修

岡山城二の丸跡に位置する現役の県庁舎。設計は前川國男。鉄骨鉄筋コンクリート造、地上 9 階地下 1 階建てで、下層はコンクリート打放仕上、上層は黒色枠のカーテンウォールを用いた外観とし、中央部のピロティや回廊で内外を一体として巧みに調和させた前川による戦後庁舎建築の大作。



提供：上土井信行

＜担当＞	文化庁文化財第二課	電話：075-451-4111（代表）
課長	田中 禎彦	
課長補佐	田中 佳幹	
登録部門	清永 洋平、市橋 弥生	（内線 9755）
審議会係	今村 結記、梶村 伊織	（内線 9756）

	名称	所在地	建設年代	特徴等	種別	種別	基準
1	中館(なかだて)家住宅主屋	青森県弘前市	M中期／M後期増築、S36改修	弘前城跡南東の旧武家地に所在する旧家の主屋。通りより引き込み建つ二階建て切妻造り妻入りで、配置や間取りに当地の武家住宅の形式を踏襲する近代和風住宅。	住宅	建築物	2
2	愛宕神社本殿(旧愛宕山大権現堂(だいごんげんどう))	岩手県奥州市	正徳4(1714)／文久2(1862)・S32改修	北上川東岸、かつて下川原御蔵(しもかわらおくら)があった集落の鎮守。基壇上に東面して建つ宝形(ほうぎょう)造り三間堂、正面一間向拝付き。小壁や組物などに塗装彩色(さいしき)を一部残す貴重な旧権現堂。	宗教	建築物	2
3	旧盛岡天主堂(てんしゅどう)	岩手県盛岡市	T元／S前期改修、同42増築、同53移築	盛岡大学附属高等学校の敷地内に建つ教会。身廊(しんろう)は柱頭飾付き円柱を並べてアーチを架けヴォールト天井を張る。ロマネスクを基調としつつ、繊細な意匠の木造天主堂。	宗教	建築物	2
4	旧亘理(わたり)家住宅主屋	宮城県登米市	M25／T後期・H12改修	仙台藩佐沼要害(さぬまようがい)の旧要害主の住宅。主屋は高台の敷地中央に南面する寄棟造り茅葺きで入母屋(いりもや)造り玄関を付す。床廻りに良質なケヤキを用い、洗練されたつくりの和風住宅。主屋南東に接続する茶室は寄棟(よせむね)造り茅葺きで主屋とともに歴史的景観を形成。石段を登った敷地入口に南面して建つ門は両脇に板葺の袖塀を付す。欄間に亘理家と伊達家の家紋彫刻を掲げ、旧家の風格を示す。	住宅	建築物	2
5	旧亘理家住宅茶室		T前期／S前期、H12改修		住宅	建築物	1
6	旧亘理家住宅表門		M前期／S前期改修		住宅	工作物	1
7	旧観音寺鐘楼	秋田県横手市	T6	高台上に建つ旧真言宗寺院の袴腰付き鐘楼。方一間、入母屋造り鉄板菱葺きで、四方を吹放ち、欄干を廻す。景勝地の蛇の崎(じゃのさき)に建つ地域のランドマーク的存在の鐘楼。	宗教	工作物	1
8	正平寺(しょうへいじ)経蔵	秋田県横手市	S4	横手城跡南西に位置する曹洞宗寺院の経蔵と山門。経蔵は土蔵造で北面に向唐破風(むかいからはふ)向拝(こうはい)を付し、華やかな外観。山門は三間一戸の薬医門で両脇に鉄板葺袖塀を付す。装飾豊富な賑やかな外観で赤門(あかもん)と地域で呼び親しむ大規模な山門。	宗教	建築物	1
9	正平寺山門		M37／S42改修		宗教	工作物	1
10	高橋家住宅主屋	秋田県湯沢市	M45／S中期改修	旧羽州(うしゅう)街道に北面する敷地に建つ旧家の主屋と土蔵。主屋は北面中央に起り屋根(むくりやね)の玄関を張り出し、背面の庭を取り囲むように座敷を突出させる。優美な襖絵で飾った座敷が連なる上質な近代和風建築。主屋の南に接続する土蔵は家財蔵で内部は各階一室の板敷で太い二重梁を現し、木部を透漆塗で仕上げ、豪壮かつ華やかな土蔵。	住宅	建築物	2
11	高橋家住宅土蔵		M44		住宅	建築物	2
12	ヤマモ味噌醤油醸造元店舗兼主屋	秋田県湯沢市	M中期／S中期・H28改修	旧羽州街道に南面する現役の味噌醤油醸造元。通りに南面して建つ店舗兼主屋の北西に、兵助蔵(旧家財蔵)、茂助蔵及び妙見蔵(旧居住蔵及び旧漬物蔵)、通りを挟んで西側に建つ彦四郎蔵(旧米蔵)、さらに敷地北西に建つ仕込蔵、諸味蔵、酢蔵、作業場からなる。店舗兼主屋は、深い螭羽(けらば)や梁組を現した妻壁が、街道景観に風趣(ふうしゅ)を添える。兵助蔵(旧家財蔵)は主屋から一連の鞘で覆った土蔵で外壁は黒漆喰磨き仕上。地元大工による重厚かつ洗練された意匠の土蔵。茂助蔵及び妙見蔵(旧居住蔵及び旧漬物蔵)は建物全体を鞘で覆い、一階西側は土間の旧漬物蔵、東側は板敷と畳敷の居住部。彦四郎蔵(旧米蔵)は一階は土間、二階は板敷で、小屋組はキングポスト・トラス。醸造施設と一体で歴史的な景観を形成。仕込蔵は二階建ての土蔵で外壁は漆喰塗り仕上。長大な土蔵が醸造施設の景観をつくる。諸味蔵は平屋建の土蔵で、内部に大型の醤油醸造桶を並べ、木太い梁を用いた和小屋を架ける。伝統的な醸造風景を今に伝える。酢蔵は平屋建て切妻造り鉄板葺きで、屋根軒先を金物補強し、積雪に備える雪国らしい土蔵。作業場は敷地中央で各施設を結節し、醤油の火入れ、濾過、充填を行う。内部は梁間七間半の広大な土間で、小屋組はキングポスト・トラス。醸造施設の要で採光を図る越屋根が印象的な外観をつくる。	産業2次	建築物	1
13	ヤマモ味噌醤油醸造元兵助蔵(旧家財蔵)		M27		産業2次	建築物	2
14	ヤマモ味噌醤油醸造元茂助蔵及び妙見蔵(旧居住蔵及び旧漬物蔵)		M16		産業2次	建築物	2
15	ヤマモ味噌醤油醸造元彦四郎蔵(旧米蔵)		S前期／S中期増築		産業2次	建築物	1
16	ヤマモ味噌醤油醸造元仕込蔵		M中期		産業2次	建築物	1
17	ヤマモ味噌醤油醸造元諸味蔵		T前期／S中期改修		産業2次	建築物	1
18	ヤマモ味噌醤油醸造元酢蔵		S前期／S中期改修		産業2次	建築物	1
19	ヤマモ味噌醤油醸造元作業場		T後期		産業2次	建築物	1
20	関田(せきた)円型分木工	秋田県仙北郡美郷町(みさとちょう)	S13	鉄筋コンクリート造、直径12メートルの円型分木工。内円筒(ないえんとう)の180個の分水孔から流す水を、外円筒(がいえんとう)の仕切板で10の地域に分水。美郷町の稲作を支える農業施設で、円型分木工の初期事例としても貴重。	産業1次	土木	1

	名称	所在地	建設年代	特徴等	種別	種別	基準
21	羽前絹練株式会社事務所及び仕立棟(したてとう)	山形県鶴岡市	S15／S中期増築	鶴ヶ岡城跡西方にあり、絹織物の洗浄・染色・乾燥などをおこなう工場。敷地北東の事務所の南側に仕立棟が位置し、西に精練棟、染色棟、第一仕上棟、第二仕上棟を並べ、南西に検査棟と土蔵を配す。二階建の事務所は北に玄関を付し、南に平屋建ての仕立棟を接続。仕立棟には反物を木枠に巻取り、精練用に仕立てる140量の準備室を配す。精練棟は絹織物を水槽で煮てタンパク質などの不純物を除去する作業棟。内部は土間で、生地を水槽に移動するレールをクイーンポスト・トラス下に設える。工場の中核をなす施設の一つ。染色棟は精練後の生地を染める作業棟。旧染色室と旧汽罐室(きかんしつ)を一体で使用し、各棟内部は一室の土間。蒸気の排気のため、棟中央にそれぞれ越屋根を設ける。第一仕上棟は精練・染色後にすすぎ・脱水・乾燥の仕上工程を担う。棟に設けた採光・換気用の越屋根が工場景観をつくる。第二仕上棟は乾燥収縮した生地を整える作業棟。桁行長大で工場中央部の景観を形成する。検査棟は生地を目視検査した後、出荷用に分割する作業棟。簡素なつくりながら昭和戦前の精練の様相を伝える。土蔵は製品保管用の蔵。戸口に掛子塗扉を吊る重厚なつくりの土蔵。鶴岡の近代化を伝える現役の工場施設。	産業2次	建築物	1
22	羽前絹練株式会社精練棟(せいれんとう)		T後期		産業2次	建築物	1
23	羽前絹練株式会社染色棟(旧染色室及び旧汽罐室)		S4／S8頃・S中期増築		産業2次	建築物	1
24	羽前絹練株式会社第一仕上棟(しあげとう)		T後期／S前期増築		産業2次	建築物	1
25	羽前絹練株式会社第二仕上棟		T後期／S中期増築		産業2次	建築物	1
26	羽前絹練株式会社検査棟		S18頃		産業2次	建築物	1
27	羽前絹練株式会社土蔵		T後期／S15移築		産業2次	建築物	2
28	日本基督教団桐生教会教会堂	群馬県桐生市	S5／S31増築、同44・H4改修	JR桐生駅南方の市街地に北面して建つ教会堂。三連の尖頭アーチの中央を玄関アルコーブとし、上部に三葉形(みつばがた)アーチ窓を開けバルコニーを付す。上部に現したシザーズトラスが上昇感をつくる。	宗教	建築物	2
29	常盤園茶舗倉庫	埼玉県深谷市	M40頃／S6頃・R4改修	茶商の商品兼家財用の倉庫。二階建の一階は煉瓦一枚半積で内法高まで立上げ、上部は土台を据えて木造とする混構造。昭和6年西埼玉地震後と伝わる鉄骨補強した外観が、深谷の歴史を伝える。	産業3次	建築物	1
30	わらび幼稚園円形園舎	埼玉県蕨市	S38／H9改修	市街地南東に位置する幼稚園舎。鉄筋コンクリート造二階建の円形平面で、狭隘な敷地で採光を考慮した坂本鹿名夫(かなお)による巧みな現役の園舎。	学校	建築物	2
31	勝家住宅主屋	千葉県市川市	S11頃	葛飾八幡宮の北東に位置する和風住宅の主屋と稲荷社。主屋は座敷は床廻りに紫檀(したん)や赤松など用い、琵琶床(びわどこ)と付書院を備えるなど、凝った意匠の近代和風住宅。稲荷社は一間社流造り銅板葺きで正面に千鳥破風を飾る。小規模ながら、精緻なつくり。	住宅	建築物	2
32	勝家住宅稲荷社		S11頃		住宅	建築物	1
33	旧下総御料牧場(三里塚記念公園)貴賓館	千葉県成田市	M9／M21移築、T8増築	旧下総御料牧場内に位置する貴賓館と防空壕。貴賓館は北に洋間のホールを配し、上下窓を開け、外壁下見板張に屋根茅葺とする独特な外観。防空壕は鉄筋コンクリート造、壁厚70センチメートルの主室を配し、戦時下の緊張を伝える堅固な防空施設。	住宅	建築物	1
34	旧下総御料牧場(三里塚記念公園)防空壕		S16／H22改修		住宅	工作物	3
35	榎本家住宅主屋	千葉県我孫子市	S前期／S33頃移築	利根川西岸の堤防沿いに位置する旧家の屋敷。主屋の周囲に建つ、離れ座敷、北土蔵、釜場、正門、稲荷社からなる。主屋は各階続きの座敷を配して南庭を望み、二階西室の床は床框(とこかまち)に唐木を用いるなど凝ったつくり。離れ座敷は二室続きの座敷とし、鶴・亀の釘隠や室境に飾る波と水鳥の透彫り欄間など華やかなつくり。北土蔵は家財蔵で掛子塗扉など上質な仕上とする土蔵。釜場は平屋建て切妻造り鉄板葺きの東西棟で、棟中央に煙出しを設ける。別棟の釜場として貴重。正門は一間薬医門で、両脇に棧瓦葺板塀を付す。大棟や降棟を高く積み、影盛とした豪壮な外観が旧家の風格ある表構えをつくる。稲荷社は一間社流造り銅板葺き。装飾抑えつつ丁寧なつくり。	住宅	建築物	1
36	榎本家住宅離れ		M中期／S33頃移築		住宅	建築物	2
37	榎本家住宅北土蔵		M17／S33頃移築、H23改修		住宅	建築物	2
38	榎本家住宅釜場		S前期／S33頃改修		住宅	建築物	1
39	榎本家住宅正門		S前期／S33頃移築		住宅	工作物	1
40	榎本家住宅稲荷社		S33頃		住宅	建築物	1
41	松井家住宅主屋	東京都文京区	S7／H13改修	西片町の中央部に位置する実業家の住宅。主屋は2階建て入母屋造りの東西棟で、南東座敷は残月床風の構えなど数寄屋意匠とした上質な和風住宅。蔵は2階建て切妻造り妻入りで小屋組は桁行トラスの束に登梁を架ける。表門及び塀は切妻造り平入りで上部に棧瓦葺き屋根を載せて二重にみせ、柱には出節丸太を用いるなど上質。塀とともに風格ある表構えをつくる。	住宅	建築物	2
42	松井家住宅蔵		S2		住宅	建築物	1
43	松井家住宅表門及び塀		S7頃		住宅	工作物	1
44	旧唐木田家住宅主屋	東京都台東区	T9／S前期増築	上野桜木に位置する和風住宅。二階建て寄棟造り棧瓦葺きで、西寄りに寄棟造り玄関を付す。ガラス窓を用いた開放的な外観で閑静な住宅地の景観をつくる。	住宅	建築物	1
45	西徳寺本堂	東京都台東区	S5	国際通り沿いに位置する浄土真宗寺院の本堂。設計は島田藤(しまだふじ)。基壇上に東面して建つ、鉄筋コンクリート造入母屋造り本瓦葺きで、軒廻りや縁高欄など斬新な外観意匠の震災復興本堂。	宗教	建築物	2
46	宮下家住宅主屋	神奈川県横浜市	S8頃／S中期増築、R5改修	国道一六号沿いの敷地に東面して建つ、旧別荘。二階建ての洋館と平屋の和館をL字に配す。洋館はエンタシス付角柱を飾る玄関廻りが特徴的。根岸湾の近代別荘開発の歴史を伝える。	住宅	建築物	2

	名称	所在地	建設年代	特徴等	種別	種別	基準
47	北條鉄工事務所	神奈川県川崎市	S37	京浜工業地帯の一角に建つ鉄工所。事務所は一階は鉄骨鉄筋コンクリート造、二・三階は鉄骨造。躯体は鋼材を自在に組合せ、外壁はモルタル洗出仕上とする。原寸工場は桁行三五メートルの鉄骨造三階建て、二・三階にチョークなどで描く原寸図用の床が残り、昭和期の鉄骨製図を今に伝える。旧シャーリング・製缶及びロール工場は、かつて南半西が鉄板を切断するシャーリング工場、東が溶接を行う製缶工場、北半が曲げ加工をするロール工場とし、現在は一体的に鉄骨加工場として使用。巨大な両開扉を吊る大規模工場。クレーンヤードは大空間の内部に天井走行クレーンを三列収容する。工場景観の要をなす地域のランドマーク。材料置場はビルトH形鋼と高力ボルト接合が作り出す大空間で、西妻面から天井走行クレーンの桁を張り出す独特の外観。高度経済成長期の川崎の繁栄を伝える現役の工場施設。	産業2次	建築物	1
48	北條鉄工原寸工場(げんすんこうじょう)		S37		産業2次	建築物	2
49	北條鉄工旧シャーリング・製缶(せいかん)及びロール工場		S37		産業2次	建築物	1
50	北條鉄工クレーンヤード		S43		産業2次	建築物	1
51	北條鉄工材料置場		S46		産業2次	建築物	1
52	穴澤家住宅座敷蔵	神奈川県横須賀市	T5／S63頃・H27改修	浦賀港西岸に位置する旧商家の座敷蔵。木骨石造二階建て切妻造り平入りで正面全幅に深い下屋を張出す。二階座敷は吟味した良材で造作し、近代浦賀の繁栄を物語る貴重な座敷蔵。	住宅	建築物	1
53	旧割烹有明表棟	新潟県新潟市	M43／S33増築、同40代改修	古町の旧料亭。表棟は二階の南面側に四室の続き間を配し、各室には床と棚を設え、室境に千鳥などの透し彫の板欄間を飾る。中庭を挟んで位置する中棟は、二階の18畳の客間床柱に大径の瘤付丸太を用いるなど大正の豪気な気風を伝える。奥棟は二階に床構え付き座敷を三室配し、床柱に銘木を用いた華やかな料亭建築。	産業3次	建築物	2
54	旧割烹有明中棟		T13／S33増築、R4改修		産業3次	建築物	2
55	旧割烹有明奥棟		S3／S33・同40代・R3改修		産業3次	建築物	2
56	川俣家住宅(旧渋谷家住宅)長屋門	新潟県三条市	天保9(1838)／S55移築	旧本陣の長屋門。通りに南面して建つ切妻造り平入り棧瓦葺きで、軒をせがい造とし、門口にケヤキの一枚板の板扉を吊るなど、間口長大で豪壮な構えの長屋門。	住宅	建築物	2
57	渡部家住宅主屋	新潟県東蒲原郡阿賀町(あがまち)	嘉永3(1850)／S後期改修	会津街道沿いの集落に位置する旧本陣。主屋は南面中央に一二畳半の式台付き玄関、東に続き座敷を設ける。式台構えや上質な座敷など江戸末期の本陣の風格を伝える。納屋は旧街道沿いの小高い場所に建ち、主屋とともに地域の歴史的な景観を構成する。	住宅	建築物	2
58	渡部家住宅納屋		T10		住宅	建築物	1
59	旧坪岩崎鰯大敷網倉庫	富山県氷見市	M43／H8改修	女良(めら)漁港に南面して建つ、鰯(ぶり)の定置網用倉庫。鰯形を象る雪割瓦が特徴的で大敷網(おおしきあみ)で繁栄した氷見鰯漁を象徴する。	産業1次	建築物	1
60	山崎家住宅主屋	富山県中新川郡上市町(かみいちまち)	M20／S28頃・同35頃改修	市街地南東の山間に位置する農家の屋敷。主屋は18畳の広間は成の高い差鴨居を四周に廻し、上部に井桁状に組んだ梁組を現す。豪壮なつくり。主屋の南に位置する土蔵は米蔵兼家財蔵。妻に家紋等を付した重厚な外観で、旧家の屋敷構を構成する。映画「おおかみこどもの雨と雪」の舞台モデルになった住宅。	住宅	建築物	2
61	山崎家住宅土蔵		M21		住宅	建築物	1
62	西野百助家住宅主屋	福井県越前市	S2	越前和紙産地の旧今立町に位置する製紙業者の屋敷。主屋と背後の北土蔵、南土蔵、離れ、敷地周囲を囲む、庭門及び南塀、北門及び北塀からなる。主屋は通りから引込み東面して建つ大規模な二階建て。軸部はスギの良材を用いて透漆塗とし、材料から仕上まで吟味した良質な住宅。北土蔵とその南に接続する南土蔵は亀甲積み石垣上に建つ家財蔵。各階板敷で小屋組は和小屋。敷地外郭を形成する土蔵。離れは入母屋造り棧瓦葺きの東西棟で、東・南面に下屋を付す。長押・竿・天井板・床柱など素木、軸部は透き漆塗り、天井廻縁は黒漆塗りとして塗り分けた上質な離れ。通りに東面する庭門は一間の腕木門。切妻造り棧瓦葺きで大棟を高く積む。南塀は総延長61メートルの塀。東面して建つ北門は一間の腕木門で、門口に引違板戸を建てる。北塀は総延長45メートルの板塀で、大規模な屋敷の歴史的景観をつくる。	住宅	建築物	2
63	西野百助家住宅北土蔵		S2		住宅	建築物	1
64	西野百助家住宅南土蔵		S2		住宅	建築物	1
65	西野百助家住宅離れ		S2		住宅	建築物	2
66	西野百助家住宅庭門及び南塀		S2頃		住宅	工作物	1
67	西野百助家住宅北門及び北塀		S2頃		住宅	工作物	1
68	赤井家住宅主屋	福井県吉田郡永平寺町	M28	九頭竜川の中流域に位置する大庄屋を務めた旧家の屋敷。主屋、病室棟(旧診療所)、新診療所、物置からなる。主屋は広大な敷地中央に南面して建つ二階建て切妻造り妻入り棧瓦葺きで、東に角屋を延ばす。東と貫を整然と組んだ妻面をみせ、大規模で風格備えた民家。病室棟は内・外科医院の旧診療所で外壁下見板張りとし、洋風意匠の外観が地域医療の歴史を伝える。新診療所は天井高と同高の軒を廻らし、縦長窓を並べるモダンな外観の診療所。主屋の南東に位置する物置は一階は土間で車庫と物置。二階は一室の板敷で物置とし、南西隅に荷揚げ口を開ける。旧家の日常生活を伝え、屋敷南東の歴史的景観を形成。	住宅	建築物	2
69	赤井家住宅病室棟(旧診療所)		S12		文化福祉	建築物	1
70	赤井家住宅新診療所		S29		文化福祉	建築物	1
71	赤井家住宅物置		S18		住宅	建築物	1
72	旧犬飼呉服店店舗兼主屋	長野県松本市	S前期／R5改修	松本城南東、善光寺街道の角地に建つ旧呉服店の店舗兼主屋と土蔵。店舗兼主屋は土蔵造二階建ての町家で、正面はモルタル洗出仕上に目地を入れ石造風とした外観。街路景観の近代化を物語る。土蔵は家財蔵で重厚かつ均整のとれた外観で屋敷構えを整える。	産業3次	建築物	1
73	旧犬飼呉服店土蔵		M6		産業3次	建築物	1

	名称	所在地	建設年代	特徴等	種別	種別	基準
74	旧横内医院	長野県松本市	S7／S40代増築	上高地線大庭(おおにわ)駅の南方に位置する医院兼主屋。正面は円柱を立て、起り付き入母屋造りの玄関ポーチを付し、外壁モルタル塗洗出仕上、腰は石張風とする洋風医院で、地域医療の歴史を伝える。	文化福祉	建築物	2
75	宮海道堰堤	長野県松本市	S14	松本市街を東西に貫流する犀川(さいかわ)水系薄川(すすきがわ)上流の狭窄部に築いた県営の砂防施設。半径30メートルの円アーチ形をした堤高15メートルのアーチ式堰堤。我が国最初期アーチ式砂防堰堤で貴重。	治山治水	土木	2
76	旧櫻井家住宅店舗兼主屋	長野県大町市	M26頃／S前期・同後期・H2・同30改修	糸魚川街道に北面して建つ旧塩間屋の店舗兼主屋と土蔵。店舗兼主屋は妻面を柱形を現して漆喰で塗込め、明治22年大火後の復興を伝える町家。主屋の背後に位置する土蔵は家財蔵。軸部木太く、明治22年大火前に遡る貴重な土蔵。	住宅	建築物	2
77	旧櫻井家住宅土蔵		M12／S後期改修		住宅	建築物	1
78	中村家住宅主屋	長野県北安曇郡小谷村	E末期／M前期・H4改修	JR南小谷駅北東の高台に西面して建つ農家の主屋と土蔵。主屋は桁行一一間、梁間五間、寄棟造茅葺(鉄板仮葺)で棟に越屋根を設ける。高台に建つ姿が地域のランドマーク的存在。土蔵は外壁は石造風目地を入れたモルタル塗仕上で、腰下見板張とし、二階正面に掛子塗扉を吊る。主屋とともに集落の歴史的景観を形成。	住宅	建築物	1
79	中村家住宅土蔵		M36／S14頃・同中期改修		住宅	建築物	1
80	寿美吉旅館主屋(旧住質店店舗兼主屋)	岐阜県高山市	T12／S前期改修	宮川西岸に位置する旅館で旧質店。通りに面して建つ主屋、厨房棟、土蔵からなる。主屋は旧店舗兼主屋で、一階正面の出格子は、上部を長方形、下部を正方形に組む高山に特徴的な縦格子を用いる。内部は玄関上部吹抜の整然とした梁組に見応えがある。厨房棟は旧味噌蔵。内部一階は厨房で二階は納戸とし小屋組は登梁形式。正面を格子構えとし主屋とともに通りの景観に寄与する。土蔵は旧質蔵。北面に主屋室内に向けて両開の掛子塗扉を吊る。要所を黒漆喰で装飾し、高い左官技術を見せる。	産業3次	建築物	2
81	寿美吉旅館厨房棟(旧住質店味噌蔵)		T後期／S前期・同25改修		産業3次	建築物	1
82	寿美吉旅館土蔵(旧住質店質蔵)		T12／S前期改修		産業3次	建築物	1
83	旧鈴木家住宅弓道場矢場	静岡県浜松市	S6頃／R5改修	旧家の屋敷に由来する公園内に残る弓道場の矢場と的場。矢場は切妻造り棧瓦葺きの東西棟。内部は天井を高く張った射場(いば)を中心に、南・東を畳敷の小上がりとし、控席、審判席を配す。的場は射場と相対し矢道を介し南面して建つ。簡素ながらも太い桁など力強いつくりで、矢場と呼応し戦前の弓道の隆盛を伝える。	住宅	建築物	2
84	旧鈴木家住宅弓道場の場		S6		住宅	建築物	2
85	旧永田家住宅(高野屋)主屋	静岡県賀茂郡南伊豆町	M中期／H10代改修	伊豆半島南端の山間に所在する旧家の屋敷。主屋、蔵、長屋門と、周囲を廻る石垣及び石塀からなる。主屋は平屋建ての四方に下屋を廻らし外壁全面を海鼠壁、軒を漆喰塗込とする。蔵は主屋の西に建つ米蔵兼家財蔵。伊豆石の切石積基礎上に建ち、破風を含めた外壁のみならず蔵前内部まで海鼠壁とする重厚なつくり。長屋門は中央を石敷通路として門口を開き、南北に部屋を設ける。通路南側の小部屋はもと牛小屋と伝わる。敷地外周を圍繞し、長屋門に取付く石垣及び石塀と、敷地正面と長屋門脇の石塀及び石段。伊豆石を用い、地域色豊かで旧家の風格ある屋敷構えをつくる。	住宅	建築物	1
86	旧永田家住宅(高野屋)蔵		M中期／H10代改修		住宅	建築物	1
87	旧永田家住宅(高野屋)長屋門		M中期／H10代改修		住宅	建築物	1
88	旧永田家住宅(高野屋)石垣及び石塀		M中期		住宅	工作物	1
89	旧国鉄名松線伊勢奥津駅給水塔	三重県津市	S10	JR伊勢奥津駅にある蒸気機関車用の給水施設。鉄筋コンクリート造で角柱4本の腰と頂部をハンチ付梁で繋ぎ、上部に円形鉄製貯水槽を載せる。蒸気機関車の時代を彷彿とさせ、地域のランドマークとなる旧給水塔。	交通	工作物	1
90	数馬(かずま)茶屋	三重県伊賀市	S4／S36移築	伊賀越仇討で知られる鍵屋の辻の南側、公園内に東面して建つ昭和4年建築の休憩施設。土間廻りは柱や天井材に古材を用いて古風にみせる。仇討で待伏した茶屋を再現した記念碑的な施設。	産業3次	建築物	1
91	戸田家住宅(旧服部家住宅)主屋	大阪府大阪市	S13／S40代改修	近鉄北田辺駅南西に位置し、旧材木商が建てた大塀造(だいいいづく)りの住宅主屋。床柱にスギの絞丸太など良材を用い、材木商らしい上質なつくり。	住宅	建築物	2
92	サントリー天満寮(旧久徳家住宅)主屋		S14／S中期・R6改修	大阪天満宮境内北側に位置する大塀造りの住宅主屋と門及び塀。主屋は各階南側に座敷を設け、二階座敷は高欄付きの南縁を介して天満宮を望む良質な和風住宅。主屋の南に建つ門とその両脇に続く塀は大塀造町家の正面を整える瀟洒なつくり。	住宅	建築物	2
93	サントリー天満寮(旧久徳家住宅)門及び塀		S14頃		住宅	建築物	1
94	後藤家住宅三階蔵		M44／S32移築	大阪谷町筋で洋服製造販売及び卸売を営んだ商家の商品蔵兼家財蔵。建ちの低い三階建の土蔵で、各階窓に漆喰塗込の庇を付す。大阪の服飾業の発展を伝える貴重な三階建土蔵。	産業3次	建築物	1
95	雲松寺本堂		宝暦元(1751)／E後期・T14改修	姫路城北方にある黄檗宗寺院。境内中央の本堂の東に玄関及び庫裏、南東に山王堂を配し、境内入口に山門及び袖塀を建てる。本堂は基壇上に南面して建つ入母屋造り本瓦葺きで、四周に裳階(もこし)を付し、大棟に宝珠(ほうじゅ)を飾る。播磨地方の黄檗宗寺院における代表的な建築のひとつ。玄関は正面に唐破風屋根の式台を付し、庫裏は室境に雁(がん)・松・竹・梅の襖絵を建てる瀟洒なつくり。山王堂は山王権現を祀る小堂。内部は内・外陣とし内陣背面中央の仏壇上に宮殿を配す。正面にガラス戸を建てた近代らしい仏堂。山門は境内入口に東面して建つ一間一戸の鐘楼門。南北に土塀が続く。山門下層は四隅に角柱と円柱を一対で立てる特異な形式。凝ったつくりの山門で境内の表構えを整える。	宗教	建築物	2
96	雲松寺玄関及び庫裏		S5頃		宗教	建築物	2
97	雲松寺山王堂		S6		宗教	建築物	1
98	雲松寺山門及び袖塀		E中期／T4移築		宗教	工作物	1

	名称	所在地	建設年代	特徴等	種別	種別	基準
99	池浦家住宅主屋	兵庫県芦屋市	S8／H7・同29改修	六甲山南麓の住宅地に位置する海運会社役員の洋館付住宅の主屋と表門。主屋は西側を和館、東側を洋館とし、ステンドグラスのモチーフに船など、階段廻りにチーク材を用い、海運商らしい特徴を示す。表門は腕木門。板扉に大きな斫り目を施し、門戸上部は格子欄間とする。簡素な構成ながら丁寧なつくりとした屋敷の表門。	住宅	建築物	2
100	池浦家住宅表門		S8頃／H29改修		住宅	建築物	1
101	牛谷家住宅主屋	奈良県宇陀市	S43	近鉄榛原駅北方に建つ郊外住宅。設計は坂倉準三建築研究所。一階は各部屋を時計回りに連続して並べ、二階上部には放射状に配った垂木を現す。屋根窓付きの軒深い大屋根が印象的な住宅。	住宅	建築物	2
102	宮田家住宅主屋	和歌山県和歌山市	寛政8(1796)／M中期増築、S30代改修	紀三井寺南方に位置するかつての米穀商の主屋。角地に建つ、つし二階建ての本瓦葺きで正側面に下屋を付す。格子構えの建ちの低い妻入町家が街道沿いの景観をつくる。	住宅	建築物	1
103	法然寺本堂	和歌山県海南市	M9／H29改修	貴志川(きしがわ)西岸の高台に位置する浄土宗寺院本堂。正面を吹放ちの広縁とし、一間向拝を付す。内・外陣境の虹梁上に、躍動的な龍の彫刻を横溢させた華やかな本堂。	宗教	建築物	2
104	旧羽根学園熊野高等経理学校校舎	和歌山県新宮市	S12／S40増築	新宮城跡の南に位置する旧経理学校校舎。木造2階建てで玄関ポーチを付し、外壁は下見板張り。玄関ポーチに四つ玉算盤の欄間を掲げ、開学時の息吹を伝える洋風校舎。	学校	建築物	1
105	北田家住宅離れ座敷	和歌山県紀の川市	M後期	粉河寺東方の丘陵に位置する果樹農家の離れ座敷と土蔵。離れ座敷は二間続きの座敷で琵琶床など備えた瀟洒な来客用の座敷。土蔵は小窓に鉄扉を付し、外観閉鎖的な土蔵で敷地の歴史的景観を形成。	住宅	建築物	2
106	北田家住宅土蔵		M後期		住宅	建築物	1
107	浄願寺本堂		天明4(1784)／M前期増築、S54改修		宗教	建築物	1
108	浄願寺庫裏		E後期／H29改修		宗教	建築物	1
109	浄願寺宝蔵		T2／S54移築		宗教	建築物	1
110	浄願寺鐘楼		E後期		宗教	工作物	1
111	浄願寺手水舎(ちょうずや)		E後期／S54移築		宗教	工作物	1
112	浄願寺山門		E後期		宗教	工作物	1
113	光臺院多宝塔	和歌山県伊都郡高野町	T6	高野山五之室谷(ごのむろだに)に位置する真言宗別格本山寺院の多宝塔と経蔵。多宝塔は庭園内の築山上に建つ。墓股に菊花紋を掲げ、精緻なつくりで、名利に相応しい多宝塔。経蔵は切石積みの基壇上に東面して建つ宝形造り本瓦形銅板葺き。同高に校木を積み上げる端正な姿の経蔵。	宗教	建築物	2
114	光臺院経蔵		S2		宗教	建築物	2
115	密厳院苅萱(かるかや)堂	和歌山県伊都郡高野町	S元頃	金剛峯寺の東方に所在する仏堂。内部は西に引導(いんどう)地蔵の内陣、東に親子地蔵の内陣を配し、両内陣を結ぶ南側通路は苅萱(かるかや)親子の悲話の絵解き場。街路沿いに建ち地域の歴史的な景観を形成。	宗教	建築物	1
116	井澗(いたに)家住宅線香水車小屋	和歌山県西牟婁郡すさみ町	T後期／S16増築、同50頃改修	太間川・熊野古道大辺路(おおへち)沿いに位置する、線香材料の杉葉等を製粉する水車小屋。中央に大型水車を設置し、左右の作業場に計16挺の石臼を据える。紀伊半島の線香製造業を伝え、貴重。	産業2次	建築物	3
117	岡山県庁本庁舎本館	岡山県岡山市	S32／S39・同43増築、H8・R6改修	岡山城二の丸跡に位置する県庁舎。本庁舎本館、議会棟旧館、西庁舎からなる。設計はいずれも前川國男。本庁舎本館は鉄骨鉄筋コンクリート造、地上九階地下一階建て北に回廊をコの字に突出。中央部のピロティや回廊で内外を一体として巧みに調和。前川による戦後庁舎建築の大作。議会棟旧館は躯体の打放仕上、黒色サッシュ、橙色(だいだいいろ)の特殊ホローブリックなど本館共通の意匠でまとめる。西庁舎は増築棟で三階以上は外壁を張出し、西正面は手摺などで格子状に割付け軽快な立面とする。	官公庁舎	建築物	2
118	岡山県庁議会棟旧館		S32／R6改修		官公庁舎	建築物	2
119	岡山県庁西庁舎		S46／H16・R6改修		官公庁舎	建築物	2

	名称	所在地	建設年代	特徴等	種別	種別	基準
120	大元宗忠神社本殿	岡山県岡山市	M18／S39改修	JR大元駅西方、黒住教発祥地に教祖大元宗忠(おおもとむねただ)を祀った神社。本殿の東に拝殿を配し、北の社務所、南の御札所を回廊で結び中核部を形成。南方に教祖記念館、北方に武道館、境内東辺に長屋門を配し、本殿周囲を門及び瑞垣で区画。本殿は伝統的な彫刻や鍔金具(かざりかなぐ)で荘厳し、細部まで丁寧なつくりの上質な本殿。拝殿は比翼(ひよく)入母屋造りで正面に千鳥破風、唐破風造りの向拝を付す。華やかかつ独特の外観を備えた拝殿。社務所、御札所は入母屋造り銅板葺き東西棟。身舎周囲に刎高欄付の切目縁を廻す。北回廊、南回廊は平面矩折の両下造銅板葺の渡廊下。拝殿、御札所、社務所とともに社殿の表構えをつくる。教祖記念館はかつての布教所兼主屋。北西に教祖宗忠が晩年居住した御居間(おいま)を残し、黒住教の記念碑的な建物。武道館はかつての布教の中心道場。木造トラスを用いて200畳に及ぶ無柱空間を実現した大規模道場。長屋門は旧布教所兼主屋の正門となる堅実なつくり。本殿を区画する門は銅板葺の平唐門で、塀は切妻造り銅板葺き。精緻に積んだ切石積の基壇上に建つ上質な門と塀。	宗教	建築物	2
121	大元宗忠神社拝殿		M18／S52改修		宗教	建築物	1
122	大元宗忠神社社務所(旧神饌殿(みけどの))		M18／S52・H元改修		宗教	建築物	1
123	大元宗忠神社御札所(旧神札殿(みまもりどの))		M18／S52・H3改修		宗教	建築物	1
124	大元宗忠神社拝殿北回廊		M18／S52改修		宗教	建築物	1
125	大元宗忠神社拝殿南回廊		M18／S52改修		宗教	建築物	1
126	大元宗忠神社教祖記念館(旧布教所兼主屋)		嘉永元(1848)／M15移築、H16改修		宗教	建築物	2
127	大元宗忠神社武道館(旧大教会所)		M32／T2増築、S51・H16改修		宗教	建築物	2
128	大元宗忠神社長屋門		E末期／S55頃・H7改修		宗教	建築物	1
129	大元宗忠神社門及び瑞垣		M18／S39改修		宗教	工作物	1
130	ヤマモトロックマシン(旧山本鉄工所)旧本社事務所兼主屋	広島県庄原市	S前期／S中期改修	新町筋に西面して建つ削岩機製造会社の旧本社事務所兼主屋及び旧研究室棟。事務所兼主屋は二階に出窓を張出し、丸窓など幾何学的意匠で飾る。独特な外観が通りの景観を形成。旧研究室棟は側廻りに上部半円アーチの縦長窓を開け、外壁モルタル掻落仕上。削岩機製造の起点となった洋風の研究室棟。	産業2次	建築物	1
131	ヤマモトロックマシン(旧山本鉄工所)旧研究室棟		S前期／R5		産業2次	建築物	2
132	船越家住宅主屋	山口県山口市	S4／S7増築	一の坂川に面した敷地に東京牛込から移築した住宅主屋。木造二階建の東西棟で南面に玄関を付し、西端に洋館の応接間を付す。二階座敷は床と床脇を組合せた自由な構成の近代和風住宅。	住宅	建築物	2
133	料亭高大玄関及び廊下	山口県萩市	T後期	旧萩往還沿いに位置する料亭旅館。玄関及び廊下、大広間、土蔵からなる。玄関は頭貫上に彫刻付臺股を掲げ、料亭の風格を演出。大広間は60畳と40畳の二室からなり、床は上壇を構え、床柱は太いサクラの皮付丸太を用い、大空間に合わせた意匠の大広間。土蔵は食器や膳の収納蔵。二階は板敷の収納蔵とし、棟通りに棚を設える。玄関と一体で敷地中央の景観をつくる。	産業3次	建築物	2
134	料亭高大大広間		T10		産業3次	建築物	2
135	料亭高大土蔵		M前期／S51頃改修		産業3次	建築物	1
136	長尾八幡宮本殿	山口県大島郡周防大島町	T5	周防大島の神南山(じんなんやま)中腹に位置する神社。本殿の東に中殿及び幣殿、拝殿を並べ、南に神饌所、北に控所を配し、本殿を挟んで南北に延びる透塀が本殿域を区画する。境内中央部に位置する手水舎(ちょうずや)、御幸橋(みゆきばし)を配し、南東の境内入口に鳥居が建つ。本殿は三間社流造(ながれづく)り檜皮(ひवाद)葺き。軒廻り賑やかで秀逸な彫刻で飾った地元周防大島の大工による本殿。中殿は両下造銅板葺東西棟で中殿の北・南面に下屋を付し、西に幣殿を延ばす。境内景観に欠かせない社殿。拝殿は入母屋造り銅板葺きで正面向拝に籠彫や丸彫彫刻を集中して飾り、外観華やか。神饌所は入母屋造り妻入り棧瓦葺きで、北面に渡廊下を接続。北側の控所も同形式とし、一対で境内の歴史的な景観をつくる。透塀は柱間に菱格子、欄間に吹寄の櫓棧を建てる。軽快なつくりで、本殿周囲の歴史的な景観に寄与。手水舎は礎石上に柱を四方転びに立て、虹梁形頭貫で固める。装飾少なく、簡素ながらも境内景観をつくる。御幸橋は緩やかに反る鉄筋コンクリート造の床版両端に石製高欄を組む。防火用貯水池建設の一環で架橋。鳥居は石造の明神鳥居、境内の入口に象徴的に建ち、参道の歴史的な景観を形成する。	宗教	建築物	2
137	長尾八幡宮中殿及び幣殿		T5		宗教	建築物	1
138	長尾八幡宮拝殿		T5		宗教	建築物	2
139	長尾八幡宮神饌所		T5		宗教	建築物	1
140	長尾八幡宮控所		T5		宗教	建築物	1
141	長尾八幡宮透塀		T5		宗教	工作物	1
142	長尾八幡宮手水舎(ちょうずや)		T4頃		宗教	工作物	1
143	長尾八幡宮御幸橋		S12		宗教	土木	1
144	長尾八幡宮鳥居		T4		宗教	工作物	1

	名称	所在地	建設年代	特徴等	種別	種別	基準
145	松山城太鼓門	愛媛県松山市	S47	松山城跡に位置する太鼓門、北・南続櫓、太鼓櫓。太鼓門、太鼓門は石垣に挟まれる脇戸付櫓門で、上階正背面に窓、正面廻りには狭間を開く。南続櫓は太鼓門上階の櫓から南の石垣に延び、石垣出隅に載る隅櫓。北続櫓は戦災前に既に失っていたが、残存する石垣の形状や、葛石上端の研り状況、周囲の石段などにより続櫓が存在したと判断し、同時期に復元。太鼓櫓は昭和48年に復元した木造二層隅櫓。西面に千鳥破風を飾り、一階の南西隅矩折と西面北端に石落しを備える厳重な構えの櫓。	文化福祉	建築物	1
146	松山城太鼓門南続櫓		S47		文化福祉	建築物	1
147	松山城太鼓門北続櫓		S47		文化福祉	建築物	1
148	松山城太鼓櫓		S48		文化福祉	建築物	1
149	旧佐野家住宅(商いと暮らし博物館)主屋	愛媛県喜多郡内子町	E末期／M中期・同43増築、S前期・同63改修	大洲街道に北面し、かつて酒造業や薬種業を営んだ商家で、主屋、土蔵、離れからなる。主屋は南西に床、違い棚、平書院を備えた上質な座敷を配す。幕末と明治の建物を一棟に改修した町家で町の発展を伝える。土蔵はかつての酒蔵。二階建て切妻造り妻入りで北と南に戸口を開け、外壁漆喰塗仕上。離れは一階座敷は南庭に面して縁を付し、ガラス戸を建て時代相を示す。主屋と一体となって敷地内の景観をつくる。	住宅	建築物	2
150	旧佐野家住宅(商いと暮らし博物館)土蔵		M後期／S63改修		住宅	建築物	1
151	旧佐野家住宅(商いと暮らし博物館)離れ		S7頃／S63改修		住宅	建築物	1
152	田所商店倉庫	福岡県北九州市	S前期	東山一丁目の交差点南西に建つ旧茶製品用倉庫。煉瓦造東西棟の北面西寄りを北に突出して全体矩折とし、北西を隅切とした変形の寄棟造り棧瓦葺き。鉾澤(こうさい)煉瓦を用いた地域性豊かな倉庫。	産業3次	建築物	1
153	冷泉荘(旧八木アパート)	福岡県福岡市	S33／H23改修	櫛田神社北西に位置する集合住宅。鉄筋コンクリート造地上5階地下1階建てで外壁モルタル刷毛引仕上。旧博多部に残る戦後復興期の貴重な民間集合住宅。	住宅	建築物	1
154	吉村家住宅(旧大力家住宅)主屋	福岡県うきは市	S前期／S38増築、H3改修	隈上川西岸の集落に位置する旧農家の主屋。寄棟造り茅葺きで、杉皮を重ね葺き、周囲に棧瓦葺下屋を廻らす。杉皮を重ねた当地特有の茅葺き屋根が集落の歴史的な景観を形成。	住宅	建築物	1
155	戸上電機製作所本館	佐賀県佐賀市	T14／S13・同30代増築、R5改修	JR佐賀駅東方の市街地に位置する、配電部品製造業の本社屋。木造三階建てで南正面の玄関から上へ、四本の付柱が昭和13年増築の三階を越えて伸びる。佐賀の電気産業の発展を伝える象徴的な事務所建築。	産業2次	建築物	1
156	野尻家住宅主屋	熊本県玉名市	E末期／M後期・S前期増築、同30代改修	玉名市天水町(てんすいまち)の丘陵中腹に位置する在御家人の住宅主屋と門及び塀。主屋は、座敷にマツの良材を用い、書院欄間に意匠性に富む龍の彫刻を施す。大規模で、眺望に優れて上質。門は四脚門で角柱を用い、中央に大きな板扉を開く。石垣上に廻らせた真壁造り棧瓦葺きの塀と一体となって風格ある屋敷構えを伝える。	住宅	建築物	2
157	野尻家住宅門及び塀		安政4(1857)		住宅	工作物	1
158	古荘家住宅(旧谷家住宅)主屋	熊本県上益城郡益城町	M後期／S32・H15改修	木山川(きやまがわ)南岸の農村集落にある旧家の主屋。つし二階建て切妻造り棧瓦葺きで正面に式台玄関を突出する。座敷は床と床脇にケヤキとマツの一枚板を用いるなど上質。式台を構えて旧家の格式をみせる。	住宅	建築物	2
注 建設年代: Eは江戸、Mは明治、Tは大正、Sは昭和、Hは平成、Rは令和の略。 種別: 土木は土木構造物、工作物はその他工作物の略。 基準: 1は国土の歴史的景観に寄与しているもの、2は造形の規範となっているもの、3は再現することが容易でないもの。							